



埼玉県議会議員

武内まさふみ

たけうち

県政を身近に!

2014
平成26年
冬季号

県政 報告

Vol.011

発行:埼玉県議会 自由民主党議員団

平成25年12月定例県議会

12月定例県議会は12月2日から12月20日まで、19日間の会期で開催されました。今回は、自民党県議団を中心に議会へ提案した「がん対策推進条例」をはじめ、平成24年度決算の認定、補正予算、条例、議会承認案件、意見書などを議決しました。

平成26年に年が改まり、皆様には、希望に輝く一年をお迎えのことと存じます。ここに第11号の県政報告を発行します。今回は、昨年の12月定例県議会で成立した補正予算や条例を中心に、県の動きなどをお届けします。私は、今年も埼玉県と地域の発展のために全力でがんばります。

一般会計補正予算1億4,478万6千円

●主な補正予算

県立久喜図書館の耐震改修の設計

債務負担行為の設定

8月の大雨及び台風18号、台風26号による災害復旧



2億3,503万4千円

▲台風で法面崩落が発生した有間ダム（飯能市）



* 3つの県立図書館のうち、久喜図書館は、他の図書館に比べ利用者が多く耐震性能が不足しているため、改修を行います。

浦和図書館→早期の閉館（平成27年度末まで）を検討

熊谷図書館→現状のまま、当分の間使用

耐震補強関連工事などの設計
限度額:1,509万円
平成25年度～26年度
耐震改修設計
平成26年度～27年度
耐震改修工事(予定)

県立図書館入館者数の推移



●条例

◆がん対策推進条例

自民党県議団のプロジェクトチーム（武内県議がメンバー）は検討を進めてきた条例案を提案し、採択されました。県などの責務と施策の基本事項を定めることにより、がん対策を総合的かつ計画的に推進するための条例です。

昨年6月に国のがん対策推進基本計画が見直されたのを契機に、本県の取組を促進すべく議員提案したものです。

◆農業大学の移転及び組織再編のための条例改正

農業大学校が平成27年4月に熊谷市に移転することに伴い、設置場所の変更と部、課を再編します。

《スケジュール》
平成26年4月 ほ場(畑)の土づくり
平成26年5月 学生募集開始
平成27年4月 移転開校

◆市町村への権限移譲を進めるための条例改正

*新たに移譲を行う事務：8事務
(例) 特別養護老人ホームの設置認可など
*処理する市町村が拡大する事務：39事務
(例) 旅券の発給事務など
(越生町には、「屋外広告物の許可及び違反是正指導事務」、毛呂山町には、「宅地造成の規制等に関する事務」が権限移譲されます。)

【農業大学校の完成イメージ図】



●当せん券付証票（「宝くじ」の発売）



平成26年度における埼玉県内の宝くじの発売限度額を400億円とすることを議会で承認しました。この売上金の一部（売上予想額約370億円の4割程度で、約150億円の見込み）は、県の公共事業等の費用の財源になります。

武内まさふみ県政調査事務所
〒350-0416埼玉県入間郡越生町越生895

TEL& FAX 049-292-2802

Email take9uch@tenor.ocn.ne.jp
URL http://www.takeutimasafumi.jp

皆様のご意見をお寄せください。掲載記事ならびに掲載画像の無断転載はご遠慮ください。

自民党県議団では、県内商店街の振興・活性化の検討プロジェクトチームを昨年6月から立ち上げています。武内議員はチームの委員長として、本年の2月定例県議会における条例の制定に向けて県商店街関連団体のヒアリングをはじめ、商店街の視察や勉強会、検討会を実施しています。



県内の住宅は約303万戸あり、そのうち空き家は約32万戸（10.7%）で増え続けています。市町村では特に適正に管理されていない空き家の対応や空き家バンクのしくみづくりなどが行われています。そこで、武内議員が昨年6月の定例県議会の一般質問で、統一した空き家適正管理のルールづくりを提案しました。それを受けて、県では、昨年10月末に市町村の取り組む空き家対策を支援するための指針を作成しました。この中で、安全対策と活用策を提示するとともに、市町村が独自条例を制定するためのモデル条例を示しました。



県道 新川越越生線(仮称)の早期着工を知事に要望

JR八王子支社に対し八高線・川越線の
利便性向上を要望

県議会の川越線・八高線活性化促進議員連盟のメンバーは、JR八王子支社を訪れ、川越線及び八高線の利便性の向上についての要望書を手渡しました。武内議員は、八高線沿線の観光促進及び八王子と高崎間の直通運転を要望しました。



▲山並みをバックに走る八高線



町長、市長と共に、着工が遅れている道路の早期着工を県に要望しました。国道16号から圏央鶴ヶ島インターを經由し、飯能寄居線（越生町内）まで約15kmの計画道路です。武内議員をはじめ関係議員は、別途県との協議の場を持って、事業促進を働きかけています。

▲岩崎副知事が対応

武内まさふみの活動日誌

●東京オリンピック・ゴルフ競技推進懇話会の協議及び視察 (10月18日)

2020年に行われる東京オリンピックのゴルフ競技が、霞が関カンツリークラブ（川越市）で開催されます。川越市をはじめ西部地区の自民党県議会議員が、競技を積極的に推進するために懇話会を立ち上げました。



●平和資料館20周年記念リニューアルオープン式典

10月20日、知事出席のもと、式典が行われました。入口の大壁画には松山女子高の生徒が描いた毛筆文字が映えています。



●埼玉県防犯キャンペーン

(10月22日)

県の川越比企地域振興センターと県議会防犯のまちづくり推進議員連盟の共催で埼玉平成高校（毛呂山町）の生徒を対象に、自転車盗難防止のキャンペーンを行いました。



●県税納税協力団体等表彰式 (10月28日)

県議会議長の代理で、知事公館において議長賞を授与しました。「中学生の税についての作文」で、4人の中学生が知事賞、県議会議長賞などを受賞しました。



●第37回全国育樹祭

(10月17日)

皇太子殿下のご臨席のもと、全国から集まった森林サポーターや林業関係者など約5,700人が参加して盛大に開催されました。



●総務県民生活委員会の視察 (11月18日～19日)



河口湖町にある「ステラシアター」を視察しました。平成7年にオープンした劇場で、約3000人の座席があります。ギリシアに現存する古代の野外音楽堂を模した半円形の舞台と可動屋根により全天候型になっています。佐渡裕さんの指導による音楽祭をはじめ、ウイーンフィル管弦楽団などのコンサート、ジャズ、合唱など質の高い演奏が行われています。また、劇場のバックには富士山が臨める素晴らしい場所に建っています。

人口23,000人の町で、このような大きな施設を運営していることに驚きました。特徴としては、単にこのシアターで演奏するだけでなく、演奏者に演奏前に小学校などで生演奏をしてもらったり、音楽祭のときに町のレストランや商店と連携するなど、町全体で連携して音楽会を盛り上げるしくみをつくって実行していることです。何よりも、町の人たちがこの施設に対して、盛り上げようという共通意識をもっていることは素晴らしいことだと思いました。ちなみに、「ステラ」とは、イタリア語で「星、特に恒星」のことで、町の中で光を放っている存在なのかもしれません。(ブログより転載)

地域のか



▲JALいるま野の収穫祭であんこ餅を作る皆さん (12月14日)